# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

61-133933

(43) Date of publication of application: 21.06.1986

(51) Int. CI.

G03B 17/12

(21) Application number : 59-256872

(71) Applicant: KONISHIROKU PHOTO IND CO LTD

(22) Date of filing:

04. 12. 1984

(72) Inventor: YAMADA MINORU

ITO EIJI MIYAMA KENJI

SAWAMURA MASATAKA

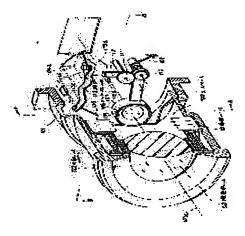
## (54) TWO FOCUS CAMERA

## (57) Abstract:

PURPOSE: To simplify a power transfer mechanism, and to transfer the power efficiently by placing a lens driving motor in the outside of a rear photographing optical path of a front lens unit, and in a gap formed by an arrangement of a rear lens unit.

CONSTITUTION: When a movable lens unit 102 is brought to a collapsible barrel against a lens barrel base part 101 fixed to the front of a camera body, an abutting piece 113c of the tip of a lever 113 is pressed by a receiving plate 121 of a base part 101, the lever 113 is turned counterclockwise, and by turning gears 111, 110 through levers B113b, A112, a conversion lens 106 is rotated counterclockwise, moved from an optical path 103a of a photographing use main lens 50, and withdrawn into a space 102a in the unit 102. In this way, a photographing optical system is switched to a short focus system, and occupies a

rear gap of a rear lens unit 10, but a dead space is left. Accordingly, a lens driving motor can be placed in the dead space.



# **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]
[Date of sending the examiner's decision of rejection]
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998, 2003 Japan Patent Office

⑲ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

# ®公開特許公報(A)

昭61 - 133933

@int\_Cl.4

識別記号

庁内整理番号

昭和61年(1986)6月21日 ❷公開

G 03 B 17/12

7610-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

会発明の名称

2 焦点カメラ

创特 頤 昭59-256872

❷出 願 昭59(1984)12月4日

ш H ⑦発 92 伊 \* 治 砂羚 眀 藤 **個務** 明 磔 Ш

孝 八王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内 雅

入王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内

人王子市石川町2970番地 小西六写真工菜株式会社内 八王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

小西六写真工業株式会

村

の代 理

睭

弁理士 野田

母発

の出

2 焦点カメラ

- 母終請求の範囲
- 長方レンズユニットが光路に出入して 2 焦点 光学系を形成する 2 焦点カメラにおいて、前方レ ンズユニットの後方撮影光路外で、前配後方レン ズユニットの配置によって形成されるギャップを 利用して、レンズ駆動用モータを配置したことを 特徴とする2 然点カメラ。
- 前 記 モータ の 軸を操 影 光軸 に 平 行 し た 方 向 に 配置したことを特徴とする特許請求の範囲第 1 項 記載の2 焦点カノラ。
- 発明の評細な説明
- ( 産業上の利用分野 )

本発明は、焦点調節のための駆動用モータをレ ンズ鏡 別内に配置した 2 焦点カメラに関するもの

〔従来の技術〕

共通の光学系で焦点距離を長・短2段階に切換

**えられる2歳点カメラの撮影光学系は、一般に撮** 影用主レンズとコンパージョンレンズとから成り、 その双方を組合せることにより長編点距離をまた ョンパージョンレンズを外して前記堆影用主レン ズのみを使用することにより短角点距離を得るよ うに構成されている。

との撮影光学系の切換の操作は、解述した理能 用主レンズとコンパーションレンズを共化収容し た可動レンズユニットと呼ばれるレンズ健闘を、 カメラ本体から引き出したりあるいは沈朗させた りする動作によって行なわれるようになっている のが普通である。

かかる 2 焦点カメラに対して自動無点開角装置 を組込む場合、前述した可動レンズユニットには 前記撮影用主レンズを合焦位置に作動し制御する ための各部材が組込まれることになるが、それら の各部材を駆動する動力派たるモータがカメラ本 体内に配置されていることが多いため、動力の伝 選機構が撮影用主レンズの移動に適阻して機能す るものであることが要件となって構造が複雑化し、

#### 特開昭61-133933(2)

また伝達距離も長くなって作動効率の低下が避け ちれない。

〔発明が解決しようとする問題点〕

本発明は、2 無点カメラにおける合意操作のための動力源たるモータを可動レンズユニット内に 配設することを可能として、動力の伝達機構の単 純化と効率化を図ることを目的としたものである。 〔問題点を解決するための手段〕

本発明は、可動レンズユニットの鏡別内においてコンパージョンレンズユニットが占める所面空間の残されたスペース内に前配モータを収容し、社によってはモータを撮影用主レンズに対し近、後した一定の距離に配置するよう構成するもので、それは、後方レンズユニットが光路に出入して、前方レンズユニットの配置によって形成されるで、カンズユニットの配置によって形成されるで、フンズユニットの配置によって形成されるで、フンズユニットの配置によって形成される。(来施例)

取付書 復に植設したストップピン 109 に当 接して 停止している。

110 は前記支持部材 107 にその回動中心を一致して取付けた歯車で、同じく前記取付基板に軸着された別の曹車 111 と離合している。

112 は前記歯車 111 にその回動中心を一致して 一体に取付けたレバームでその左側端面は断面が 円弧状に形成されている。

115 は前記可動レンズユェット 102 の内周面に 設けた 突起 104a に軸着した複杆で繰りばね 114 に よって反時計方向に付勢されているが駄狼りばね 114 は 前記視りばね 108 に比し著しくその付勢力 を小さく設定されているので前配根杆 113 は、それと一体に形成した軸盛 113a に設けたレバー B113b が前記レバー A112 に対して直交する形で当接する ことにより図示位置にて停止している。 なお前記 レバー B113b の右側構面も前記レバー A112 同様 にその断面が円弧状に形成されていて強力に押圧 した場合でも作動が円滑かつ正確に伝達されるようになっている。 本発明の1 実施例を第1 図ないし第4 図に示す。
101 はカノラ本体(図示せず)の前面に固定された健康基部、102 は前配銭服基部 101 に内優して前後に層動して図示の如く引き出しあるいはその反対に比解出来るよう取付けられた可動レンズユニットである。

50 は類影用主レンズで電磁ユニット10 およびその前方に記設した合無装置と共に撮影光学系の前方レンズユニットを形成し、カメラ本体の制御装置によって鮮光および無点関節の削削を受けるようになっている。

105 は前記境影用主レンズ50の光路を制限する 速光枠、106 は前記電磁ユニット10 と映建光枠108 の間に記設されたコンパージョンレンズで、その 光動は前記機影用主レンズ50の光軸103mの延長線 上に一致するよう関かれている。

107 は前記コンパーションレンズ 106 を保持する支持部材で、前記電磁ユニット10の取付基板(図示せず)に動着され、扱りばね 108 によって時計方向に付勢された状態にあるが、同じく前記

かくして、これらの各部材と前配コンバーションレンズ 106 は前途した前方レンズユニットに対して撮影光学系における徒方レンズユュットを形成している。

かかる状態で撮影光学系は長無点系を構成しているが、約記可動レンズユニット 102 をカメラ本件の前面に固定された前記鏡所基部 101 に対して沈房させると、前記後行 113 の先端に取付けた选級片11.3c がカノラ本体の方面に固定された鏡房基部 101 にある受け板 121 によって押圧されるので、前記後行 113 を反時計方向に回動し前記レバー B 113b、レバー A112 を介して曲車 111,110 を回動することにより、前記コンバーションレンズ 106を反映計方向に大きく回転して前記撮影用主レンズ50の光路103b より移動して可動レンズユニット102 内のスペース102 内に遠避させる。

かくして撮影用光学系は短点点系に切換えられることとなり、このように焦点距離の切換に当って、後方レンズユニットは前記電磁ユニット10の後方のギャップすなわち所面空間をその内局上の

### 特開昭61-133933(3)

選半にわたって占有することとなるが、その反対 質の円局上に使用されないデッドスペース102bを 残している。よって本発明においては酸デッドスペース102bに焦点調節終度の動力源たるレンス駆 励用のモータ60を配便することを提案するもので ある。

すなわち前記デッドスペース102bの具体的位置 は第2回および第3回に示す如く、前記電磁ユニット10と遮光枠 105の間において撮影用主レンズ 50 が包括する光路 103b を囲むほぼ環状のスペースの一部であって、何記後方レンズユニットと同一所面上の空間である。

前記デッドスペース102bは電磁ユニット10を介して合旗装置に望近の位便にあり、鉄ブッドスペース102bにモータ60を配置することによりそれ等の築硬が容易となり、さらに可動レンズユニット102として合無装置と一体で移動されるので接続構造も単純となり、自動無点調節装置の組込み上頭る有利な構造となる。

なお本発明によって可動レンズユニット 102 内

たお、放ストップ爪24 はフランジ部21を 貫通した 電磁ユニット10 の前記規制ビン11 の係止作用を受 け時計方向への回転が阻止されている。

一方、前記円筒部26の周面には3本の底逸得27を等間隔にて光軸方向に設け、その内局に摺動可能に嵌合した堆影用主レンズ50のガイドピン51をそれぞれ使入して鉄塊影用主レンズ50を光軸方向に進退出来るよう保持している。

40 は前記レンズガイド20 の円筒部26の外居に回動自在に映合するレンズ駆動部材で、その円筒部41 に設けた3 本のカム 神42 が撮影用主レンズ50 の同記がイドビン81をそれぞれ鉄造せしめ、前配厚道牌27 と共働して撮影用主レンズ50 の回遠位量を規制する状態を形成している。また前配レンズ 駆動部材40 はフランジ部46 に個えた曲草部分47 を介してモータ60 のビニオン61 により図示位置から時計方向への回転とその復帰のための逆転が出来るようになっている。

30 は解記レンズ駆動部材40の円、筒部41に外級するレンズ位置決め部材で、その溶面には塩影用主

に配置されたモータ60 による具体的な自動無点調節整備の構成とその作動を第 4 図によって説明すると次の通りである。

図は本典量を構成する各部材を光軸方向に展開して示したもので、これ等各部材はカメラの鏡屑部にユニットとして組込まれ、カメラ本体質に備えた電源と創御装置により駆動、創御されるものである。

10 は銀網内に固定した電磁ユェットで、その内部には撮影光学系の環光量を制御する第 1 可助コイル部材(図示せず)と提送する保止部材を規制するための規制ビン11を複数した第 2 可動コイル部材1 2 とを光軸を中心として関動出来る状態で収容している。

20 は前記電磁ユニット10 の前面に取付けたレンズガイドでフラング部21 と円筒部26 とから成り、フランジ部21上には前送した側御装置にレンズ位置の情報を送るための検出用パターンをもったブリント 復22 および引張ばね23によって時計方向に付勢されるストップ爪24を輸着して個足でいる。

レンズ50のガイドビン51を当接することにより 類影用主レンズ50を所定の無点位置に 改定するた めの役 カム31を前記がイドビン51に対応した位置 に 3 個所設けている。前記レンズ位置決め部材30 と前記レンズ駆動部材40とはレンズ位置決め部材 30 の発起32に取付けた押圧ペネ33の先端が、レン ズ駆動部材40のフランジ部46に設けた V 字状の切 欠48に係合することによって一体とされ、前記モ ーク60により同時に回転される状態となっている。

たお、この状態で前記レンズ駆動部材40のカム 第42は、前記レンズ位置挟め部材30の収カム31と ほぼ平行して配置され、かつ海カム42が規制して いる撮影用主レンズ50の前記ガイドピン51を前記 彼カム31に抵触させない位置に僅かに離間して設 けられているものとする。

また前記レンズ位置決め部材30の他方の突起34 には、接片35が取付けられていて、前配レンズ取 動部材40の回転に従って、前配レンズガイド20の プリント板22上の断続した回路バターンを摂動す ることにより、前配制御装置にパルス個号を送る

### 特開昭61~133933(4)

ようになっており、また他の部分には該制御袋便からの個号により作動する前記ストップ爪24を保合すべき爪曲36を形成している。

かかるレンズ駆動部材40とレンズ位置決め部材30とは、前配レンズガイド20のフランジ形21の前回と、試フランジ部21に3本の柱71を介して取付けられた押え板70の背面との関に挟持され図動自在に支持された状態とされている。

次にその作用と機能について説明する。

カメラのレリーズを操作する動作に選動して関
医療促が被写体阻離を検出し、その情報を前記制
解接度に入力する。それと同時に安全のために先
ず前記第2可動コイル部材12に通電して前記規制
ピン11に時計方向の回転トルタを与え、前記スト
ップ爪24が不用意に角記レンズ位置決め部材30の
爪歯36と係合していた場合、それを解除する作用
をする。

前記規制ビン11の作動に若干速れて前記モータ 60が始動し前記レンズ駆動部材40と前記レンズ位 量次の都材30を同時に時計方向に回転させる。

ブに当接し、放塊が用主レンズ50を測距模型の距離情報に対応した光軸上の位型に設定したのも所定の時間を経てモータ60が停止し回転を終える。

かくして被写体に対する撮影用主レンズ50の合 魚が行なわれ、続いて前配第 1 可動っイル部材の 作動により即出を行なって撮影を終えるとその債 号によって前配第 2 可動っイル部材12が再び起動 して前配規制ビン11 を時計方向に移動し、制能ストップ爪24を前記爪債36 との係合から外す。

次いでモーク60が逆回転を始め、先ず前配レンズ駆動部材40を反時計方向に回転して撮影用主レンズ50を直離的に向逃させたあと、その切欠48が前配レンズ位便決め部材30の押圧バネ33を係合する位置に達すると、飲レンズ位便決め部材30を一体として共に反時計方向に回転して当初の状態に役局させた後、モーク60が停止して作用を終了する。

なが、キータ60の逆回転に際して前記レンズ位 世次め都材30が押圧パネ33と切欠48との係合による一体化の向に度接等によって従助回転すること それに伴い撮影用主レンズ50は直線的に提及しの時に対影接片35とブリント板22の簡動が始まって前記機影用主レンズ50の位置に対応したパルス信号が割御後置に送られると、予め御題装して改造されていた撮影用主レンズを置されていた撮影用主レンズをできませるのでは、一致した場合的では、一多60の回転は一時停止して前記第2可動っていたが記録して前記規制ビン11を反映計方向に係強させる。従って前記ストップ爪24が爪筒36に係合して前記レンズ位置失め部材30の回転を強調的に停止させることとなる。

前記第2可動コイル部材12の作動に続いてモーク60が再び回転を始め前記レンズ駆動部材40をさらに時計方向に回転するので、レンズ位置決め部材30に取付けた押圧パネ33は切欠48から外れ、レンズ駆動部材40だけが単数で回転を続けることとなる。

このレンズ駆動部材40の回転により前記設カム 31 より離間した位置に保持されていた規能用主レ ンズ50のガイドビン51 は設カム31 の所定のステッ

があっても、その金回転角度は制限されているため前記レンズ収象部材40の復用中には必ず係合して前述した状態に達した硬停止されるようになる。 [発質の効果]

本発明により、モータの動力によって焦点調節 級便を駆動する動力伝達機構が簡単かつ効率的と なり、しかもカメラ本体のコンパクト化にも成果 のある自動焦点式の2 焦点カメラが実現すること となった。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1回は本発明の2条点カメラにおける可動 レンズユニットの針視図。第2、第3回はその要 毎所面図。第4回は前記2条点カメラに組込まれる焦点調節装置の1例を示す歴期斜視図。

102 ……可助レンズユニット

102 a ..... スペース

102b …… デッドスペース

50 ----・・ 焼 彩 用 主 レ ン ズ

103 a …… 先 軸

1036 ---- 尤路

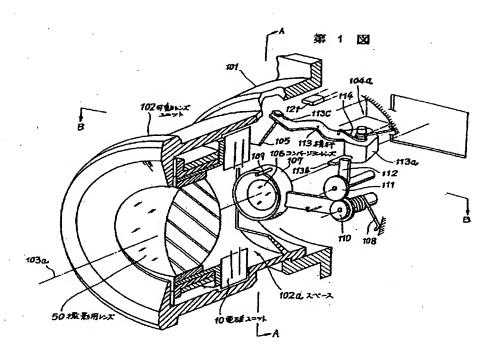
105 …… 遊光枠

106 …… コンパージョンレンズ

107 …… 支持部材 、 113 …… 俱行

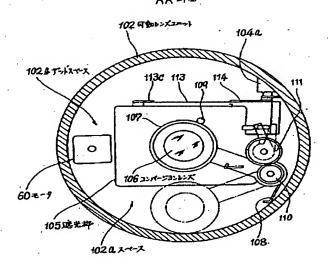
10 ……… 電磁ユニット 60 …… モータ

代理人 弁理士 野 田 藕 規



**—197**—

第2図



第 3 図 BB 對 60 105速光料 102 102a T5F277 103a 光路 103a 103a 尤路

第 4 図

